

BCDEditGui

(ビーシーディーエディットジーユーアイ)

ユーザーズマニュアル

manual version 1.0



目次

1. 製品の概要.....	3
2. インストール.....	4
2-1. インストールの準備.....	4
2-2. アンインストール.....	4
3. 使用方法.....	5
3. 1. 本ソフトの考え方.....	6
4. 実際に使ってみる.....	6
4. 1. バックアップ.....	6
4. 2. RAM ディスクに関する設定.....	7
4. 3. 現在の起動セットの複製を作る.....	8

1.製品の概要

本ソフトは、Windows VISTA から採用したブート構成データ(BCD)を GUI で操作します。

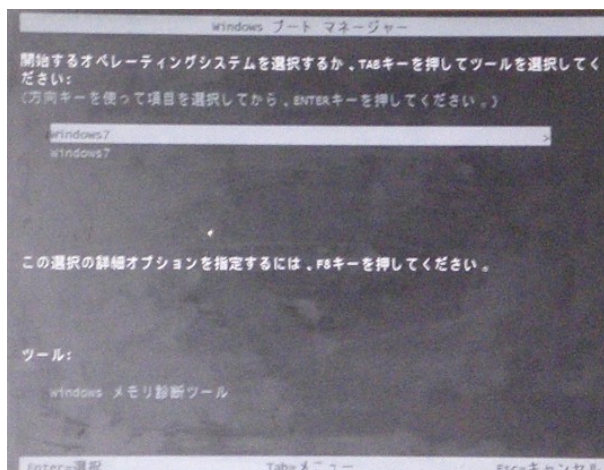
Windows VISTA, Windows7 が標準で持つ、ブート構成データ(BCD)管理ソフト「BCDEdit」はコマンドラインベースで使いにくいです。

本ソフトは頻繁に使う機能を GUI 化したものです。

ブート構成データ(BCD)は本来は、PC の起動時の設定をするものです。

パソコンに複数の Windows を入れている時に、次のような表示がでます。

ブート構成データ(BCD)は、この画面を決めるものです。また、Windows は一つでも、起動時の設定を変更して選択したいときに使用します。



この画面は、ブート構成データ(BCD)に1セットしか設定がない時は表示しません。

2.インストール

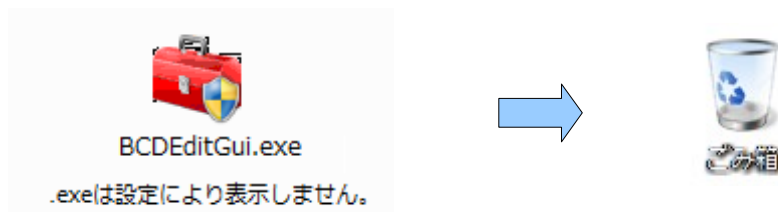
2-1.インストールの準備

本ソフト本体を、お持ちの PC のディスクにコピーして保存ください。
どこに保存してもかまいません。これで、インストールは終わりです。



2-2. アンインストール

本ソフトをゴミ箱に入れ、削除してください。これでアンインストールは完了です。



②次に PBTM を実行します。次のアイコンをダブルクリックしてください
パソコンの設定によっては、「.exe」の非表示の場合があります。

3. 使用方法

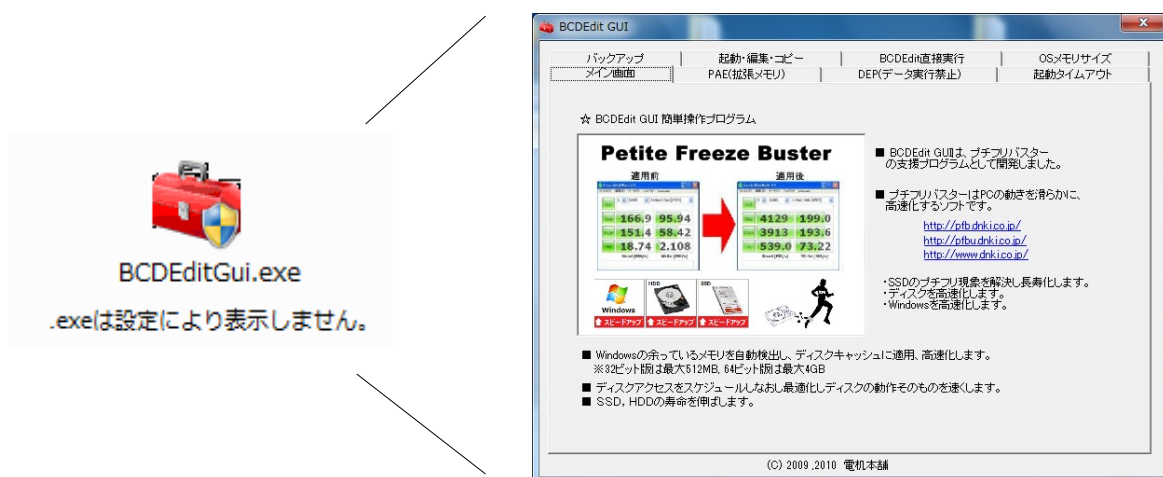
本ソフトの使用方法は、MS 純正の BCDEdit に従います。MS 純正の BCDEdit の使い方を良く理解して使用してください。

本ソフトは、GUI によるメニュー操作にて BCDEdit の機能を指定します。内部で BCDEdit 呼び出し実行します。使いにくい、コマンドライン操作を見えない所で行うソフトだと思ってください。

従い、提供する機能は BCDEdit に依存します。

本ソフトは予告なく、バージョンアップ、仕様変更します。

この場合、追加機能、細かい修正により操作が若干かわります。ご容赦ください。



本ソフトの使用方法は、アイコンをクリックして実行してください。

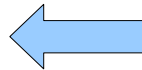
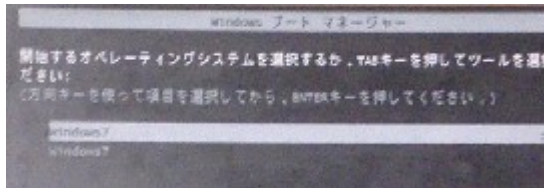


主要機能は、タブより選択するようになっています。

3. 1. 本ソフトの考え方

本ソフトの元となる MS 純正の BCDEdit は操作に重複が沢山あります。

本ソフトはそれを整理し、一つの考え方でまとめています。



現在選択している設定に対して操作を行う。

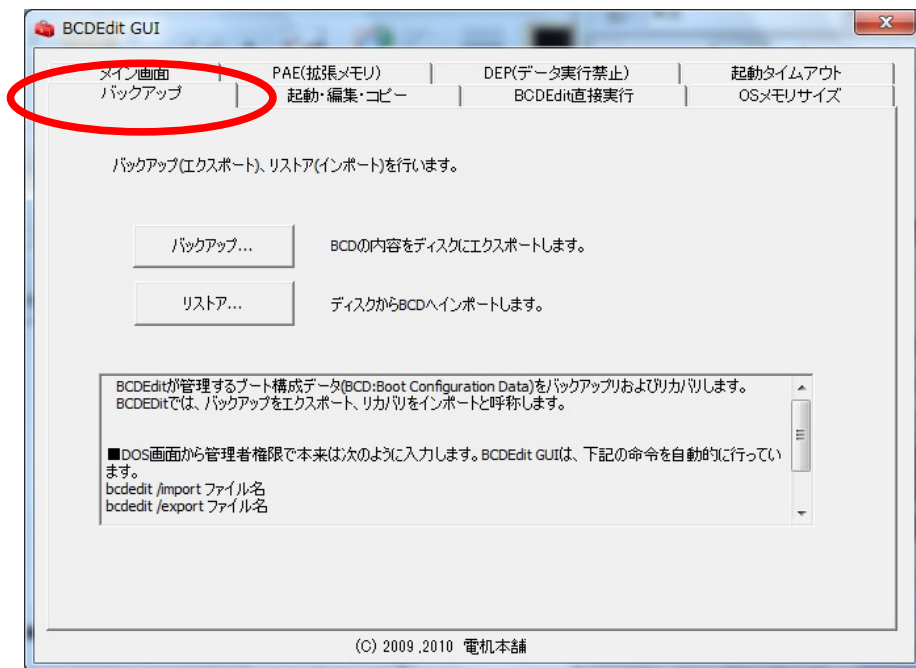
本ソフトの設定は、原則、PC の起動時に選択したセットに行います。

BCDEdit ではこれをカレント(current:現在の設定)と呼んでいます。

例外も存在しますが、本ソフトはカレントの起動情報に対して修正を加えるよう設計しています。

4. 実際に使ってみる

4. 1. バックアップ



まずは一番簡単な使い方です。
BCD の内容をバックアップしましょう。

BCDEdit ではバックアップの事を、
エクスポート、リストアすることをイン
ポートと読んでいます。

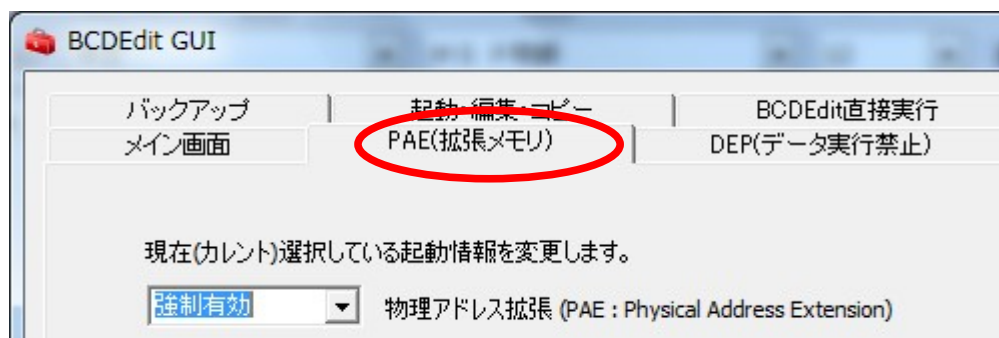
細かい設定をしていると最初の状
態が判らなくなります。最初にバック
アップをおきましょう。

バックアップ・リストアは、例外的に
BCD データ全てに適用します。

4. 2. RAM ディスクに関する設定

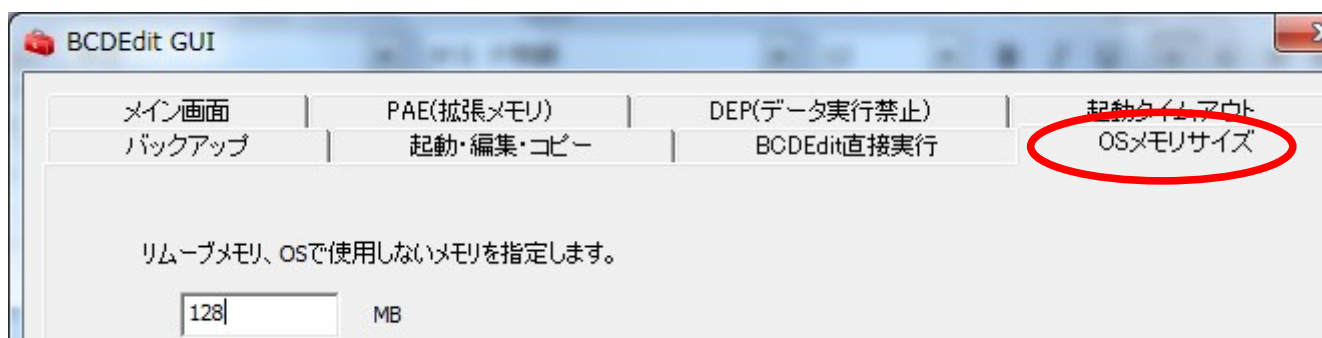
本ソフトの開発の理由の一つがこれです。RAM ディスクという Windows の高速化技術があります。RAM ディスクを上手に利用するにあたり、煩雑な BCDEdit の操作が必要でした。

詳細は省きますが、フリーウェアの RAM ディスクソフト「ERAM」を使用にあたり必要な設定を紹介します。



ERAM の目玉の一つに、OS 管理外メモリと呼ぶ、ハードウェアで予約している3.2~4 GB アドレスのメモリがあります。ここを RAM ディスクとして使用する上で、PAE を強制有効 (ForceEnable) にします。

PAE の設定は、Default, ForceEnable, ForceDesable とあります。RAM ディスクの要求仕様に合わせて設定してください。



OS 管理外メモリは、非常に紛らわしい混乱があります。

OS 管理外メモリは2種類あります。ここで指定する値は、OS 管理外領域②です。

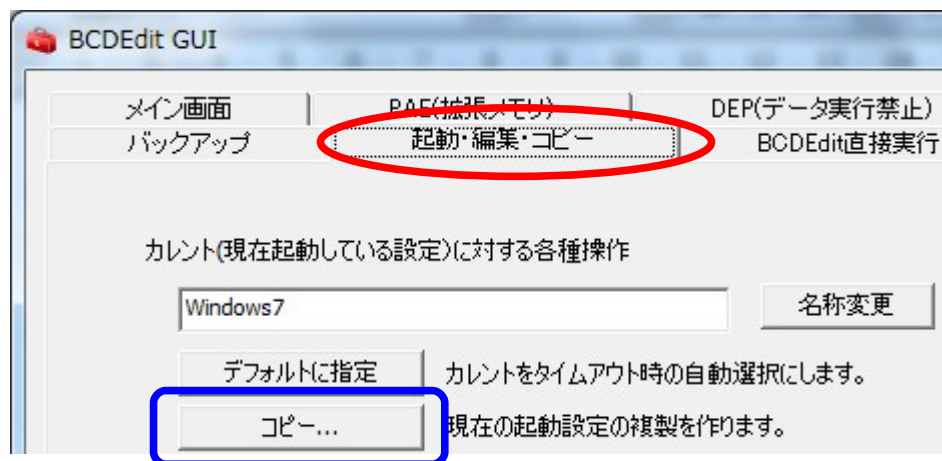
32ビット版OS限定

0番地

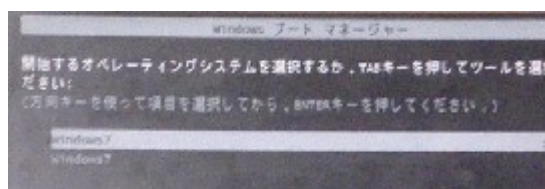


4. 3. 現在の起動セットの複製を作る

最も一般的な本ソフトの使い方です。

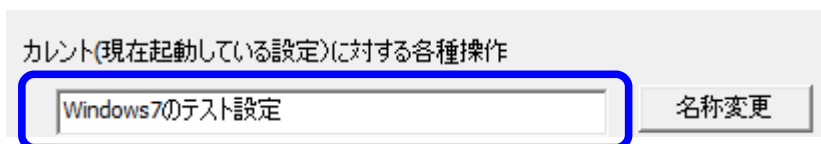


この画面のコピーボタンを押すと、現在の起動セットの複製が出来ます。

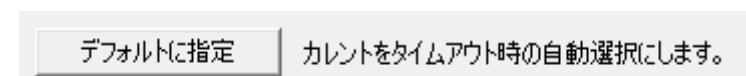


複製はこの画面に現れ選択できます。
この画面は、起動設定が2つ以上あると出ます。

また、PC 起動時の選択画面で、起動設定が同じ場合など紛らわしいです。この時は、



このように名前を変更できます。注意が必要なのは、この変更は現在のカレントに対して行います。従い、名前を変更したい起動セットを事前に選び、PC を起動する必要があります。



Pc 起動時の選択が複数作ると、自動的に指定する設定が欲しくなります。その時は、この「デフォルトに指定」を使用してください。カレントを自動的に選択するようにします。

お問い合わせ

有限会社電機本舗

<http://f2d.dnki.co.jp/>

e-mail: tec@dnki.co.jp

東京都港区高輪1-2-16鈴木ビル6A

※ その他、PC に関して何かお困りのことがありましたら、ご相談ください。